

第 5 回 JBG チャレンジカップ 実施要項

1. 大会名: 第 5 回 JBG チャレンジカップ
2. 主催: 日本社会人団体馬術連盟
3. 開催日: 令和 3 年 1 月 16 日(土) ～ 17 日(日)
4. 開催場所: 壬生乗馬クラブ (栃木県下都賀郡壬生町国谷 2123)
5. 競技種目:
 - 1 月 16 日(土)
 - (1) 小障害飛越競技(60cm)、(80cm)
 - 1 月 17 日(日)
 - (2) 小障害飛越競技(60cm)、(70cm)、(80cm)
6. 出場資格
 - (1) 日本社会人団体馬術連盟に所属する団体の部員であること。
 - (2) 小障害飛越競技(60cm)、(70cm)は、日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 C グレードと同等以上の保有者を推奨し、各団体の責任において出場して問題無いレベルであると認めた部員(小障害飛越競技(60cm)は B グレードと同等以上の保有者は出場できない)。
小障害飛越競技(80cm)は、日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B グレードと同等以上の保有者を推奨し、各団体の責任において出場して問題無いレベルであると認めた部員。
 - (3) 第 58 回全日本実業団障害馬術大会への選手登録がされていないこと。
 - (4) 馬匹の馬装と手入れが問題なくできること。
 - (5) 何らかの傷害保険に加入していること。
7. 競技形式
 - (1) 競技方法
競技規定は、最新の国際馬術連盟障害飛越競技会規程及び日本馬術連盟競技会規程、国民体育大会馬術競技規程(失権者の減点算法)を採用する。3 反抗失権とし、基準タイムの設定など一部ローカルルールを採用する。使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合の再走行は行わない。
 1. 主催者が事前に割り当てた馬匹に騎乗してコースを走行し、その成績によって勝敗を決する。
 2. コースは、以下の構成とする
60cm クラスは高さ 60cm までの単一の垂直障害で構成される。
70cm クラスは高さ 70cm までの単一障害、もしくは幅 80cm までのオクサー障害で構成される。
80cm クラスは高さ 80cm までの単一障害、もしくは幅 80cm までのオクサー障害で構成され

る。

(2) 順位の決定方法

1. 減点の少ない者を上位とする。
2. 減点と同点の場合は、走行タイムの基準タイムとの差の絶対値の少ない者を上位とする。
3. 以上で決まらない場合は、同位とする。

8. 表彰

- (1) 障害馬術競技の各班それぞれ、上位 3 名を表彰する。

9. 注意事項

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。
- (2) 出場者数及び馬匹、その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合もある。競技の詳細等については、当日の打ち合わせにおいて説明するので、注意すること。
- (3) 準備運動は 3 分 2 飛越以内とする。クロス障害の飛越は回数に含めない
- (4) 選手の準備運動場における飛越回数オーバーは失権、逆標旗飛越については都度罰金 3 万円を課す。
- (5) 出場者は必ず保護帽を着用すること。保護帽は容易に脱落しないよう恒久的に取り外しが出来ない顎紐がシェル部に 3 点以上で固定されたものでなければならない。
- (6) 拍車は 2.5cm 以内の丸又は棒拍とし馬匹提供団体および審判長の指示に従うこと。
- (7) 服装については正装とする。なお、安全のためエアバック式のプロテクター着用を推奨する。
- (8) 競技の参加について、16 日(土)はそれぞれの競技合計で上限 16 鞍、17 日(日)はそれぞれの競技合計で 24 鞍を上限とする。重複エントリーは認めるが、エントリー数が多い場合は団体や参加者の調整を行う場合がある。
- (9) 馬装と手入れについては参加選手にて協力して対応することとする。
- (10) 本大会は(公社)日本馬術連盟の「馬術競技会における新型コロナウイルス「COVID-19」感染拡大予防ガイドライン」、および日本社会人団体馬術連盟の「新型コロナウイルス対策ガイド」に基づき開催する。すべての選手及び関係者・来場者は別紙記載のガイドラインを遵守し、感染防止に十分な配慮をするとともに、「健康観察・行動記録」を団体ごとに毎日競技開始前に提出すること。提出されていない場合は、出場を認めない場合がある。
また、エントリー時に新型コロナウイルスに関する「誓約書」を必ず提出すること(提出方法は別途開催案内に記載する)。

以上